

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 31日(令和元年度)

事業所名 はぐハウス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		その日の活動内容や、児童に応じて配置換えを行い必要なスペースを設けている	
	2	職員の配置数は適切である	6	1	看護師、保育士人数は基準より多く配置しているので維持していく	医療的ケア児も多い為、今後も児童の状況に合わせて人員配置を行っていく
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		名前のついた、靴箱や荷物棚を配置。キッチンの一部を除いては、バリアフリーにしている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		活動スペースに段差のあるものは置かない等環境整備に配慮している	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	3	全スタッフと話し合いながら、業務改善に努めている	定期的な会議を引き続き行っていく。可能な限り職員全員で行えるよう改善する
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		アンケート結果について話し合い、業務改善に動いております	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		保護者による事業所評価は毎年行っており、結果はホームページに公表すると共に、保護者にも結果報告している	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1	今年度は外部評価は受けていない	必要であれば検討する
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		3ヶ月～6ヶ月に一度医師、スタッフによる講習会を行っている	職員の希望する内容の研修を行えるよう、アンケートを定期的にとっていく
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		独自のフェイスシートを作成しており、面談や電話連絡で情報収集を行っている	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		重症心身障がい児にあった標準化されたアセスメントツールはなく、独自のものを使用している	アセスメントツールの使用しやすいものが見つかれば検討する
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7		支援計画には「発達支援」「家族支援」「地域連携」の項目に分けた目標を立てており、かなり具体的な支援内容を記載している	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		計画作成後は職員全員に回覧、周知した上で日々の支援を行っている。6ヶ月後のモニタリングで各項目の達成度を検証し、計画の見直しを行っている	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		毎月の会議の中で、保育士を中心に2ヶ月先のプログラムを立案している	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		様々な経験を積みプログラム内容を考えている。ただ重症心身障がいの対象の事業初なので、繰り返し提供する事で、心や身体の反応を見るプログラムも設定している	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7		個別に毎日の活動評価を行っており、課題を元に集団プログラムを実践している	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	3	朝一の時間に全員居ない為、各出勤時に申し送りをしている	常勤以外の職員にも、周知できるよう申し送りノートを設置し確認したらサインをするようにしている
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	3	終了後の打ち合わせは、終了時間が一定では無いため、常勤スタッフのみで行い、翌日に再度申し送りをおこなっている	常勤以外の職員にも、周知できるよう申し送りノートを設置し確認したらサインをするようにしている
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		日々の支援は細かく記録をしており、スタッフ会議や支援計画の振り返りの際にも活用している	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		全員6ヶ月毎のモニタリング、支援計画の見直しを行っている		
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		主に児童発達管理責任者が参加しているが、児童に応じて看護師や保育士も参加をしている		
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	1	医師、保健師、役所関係者の方々と、密に連携を取っている		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	7		地域で盛んに支援会議が開かれており、常に連携しながら支援している。また幼稚園、学校へは保育所等訪問支援を使い支援し、連携を図っている	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	7		医療的ケアの実施に関しては必ず主治医に指示書の記載をお願いしている。また病院で実施するカンファレンスには積極的に参加している	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	4	現在保育所等訪問支援も行っており、保育所、幼稚園、学校での訪問支援を月1度訪問し情報共有もしている児童もある	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	3	各児童のカンファレンスには、積極的参加をして情報共有に努めている	カンファレンス内容がスタッフにも共有できるよう、申し送りを徹底する
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3	相談支援やMSW主催のカンファレンスには積極的に参加しており、他事業所との連携を図っている	事業に関係の深い研修があれば、積極的に参加していく
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		7	現在は行っていない。保護者からの要望があれば検討するが、感染予防やケガ予防の観点から慎重に検討する必要もある	今後親からのニーズがあれば検討する
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		5	現在は参加はしていない	会議の情報が入ってこないで参加していないが、今後は必要に応じて連携が取れるように、積極的に努める
30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		6ヶ月に1回のモニタリング時は面談し、発達課題やニーズについてお伺いしている。また連絡帳や送迎時にその日の様子を詳しくお伝えし、家での様子もお伺いしている		
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	3	ペアレントトレーニングや食育に関する講習会の情報をお知らせした。また個々の体調面や機能、装具の相談、助言を行っている	施設に外部講師を招き、保護者の方も招いて講習会の計画を立てている	
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		契約時になるべく詳しく説明している	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7		保護者との密な情報収集、体験利用から、様々な職種のスタッフと意見交換した上で個々に合った計画作成を行い、児童発達支援管理責任者から保護者に内容説明を行い、同意を得ている	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		お電話やLINEでの報告、相談を受けており、送迎時にも相談を受ける事もあり、なるべく迅速に助言が出来るよう対応している	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6	夏祭りやクリスマス会の時、保護者同士会話が出来るように工夫したが、保護者会という名目での集まりは出来なかった	保護者同士の情報交換等の機会をもてるよう、保護者会を検討する。
	36 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		いつでも相談、申し入れが出来るよう、LINEをつないで対応している。具体的な話は電話や送迎時にも対応している	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		毎月1回、「おたより」をお渡しし、支援、活動報告を行っている	
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	7		写真の掲載や個人情報、支援計画の取り扱いについて保護者と書面で確認している	
	39 障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		支援の際は子どもの意思を感じ寄り添う支援を心掛けている。モニタリングは面談で保護者との意思疎通を図っている	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6	会場を借りての季節イベントなどは、利用児童さんのご家族、行政の方など参加してもらっている。施設内で行うイベントは、ご近所の方にもお声かけはしている	今後もイベント時、ご家族やお友達、地域の方、行政にも引き続きお声掛けをしていきたいと思う
	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4		各マニュアルは作成している。感染マニュアルはいつでも見れるよう掲示している	今後他のマニュアルも順次保護者会で説明していきたい。災害に備え保護者と事業所間のライン交換を行っている
42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		消防、災害訓練は年間計画の中で立案しており、実際に行っている		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		利用開始前にフェイスシートや子どもの様子シートに記載してもらおうと同時に聞き取りを行っている。また服薬の変更時や通院情報などもお知らせ頂いている	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		医師のからの指示書もいただいており、アレルギーの調査票をお渡しして、具体的に記載していただいている。食物アレルギーのある児童がいる場合は、食事時は児童同士の距離も保つようになっている	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		ヒヤリハットは積極的に報告されており、毎月の会議で報告、対応策の検討、改善を図っている	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		毎年外部研修に参加し、その報告も兼ねて事業所内研修を行っている	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7		身体拘束の同意書を交わし、支援計画、安全確保の為に身体拘束など、日々の連絡帳にも記載している	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。